

区P連だより

第67号

令和4年9月吉日

旭区PTA連絡協議会
会 長 松本 雄一郎

広報担当
都岡中学校ブロック

暑かった夏も終わりに近づいて、少しづつ過ごしやすくなってまいりましたが、皆さんいかがお過ごしでしょうか？
本年度は都岡中学校ブロックが広報担当ブロックということで、一年間当ブロックの各校をご紹介します。今回は都岡中学校をご紹介します。



まずは、都岡中学校の紹介を佐久間校長先生より
いただきたいと思ひます。



都岡中学校は、源流の森保存地区(横浜市指定)や都岡アメニティに囲まれた自然豊かな丘陵地にあります。また、隣にはズーラシアがあり動物たちの語らいも聞こえます。校庭は、広くサッカーの公式試合の会場にもなります。学区には、3小学校があり、横浜市でも広い学区に数えられます。学区の端から来る生徒は、徒歩で40分以上かけて登校してきます。生徒数は337名と小規模校であり、部活動は、サッカー部、野球部、バスケットボール部、卓球部、女子テニス部、剣道部、吹奏楽部、美術部と多くありませんが、子どもたちは豊かに伸び伸びと生活しています。昼休みになると全校生徒の約3分の1は校庭に出て、ボール遊びなどで身体を動かしています。PTAの活動も活発で、コロナ禍前は、あいさつ運動、子どもたちと一緒に花植えや昼食の試食会、学校まわりの清掃活動、保護者の社会見学や講習会、パトロール、地区懇談会の主催などを行っていました。現在は、徐々に以前行っていた活動を、できるところから行っている状況です。

今年は、創立50周年を迎え、コロナウイルス感染症の状況にもよりますが、10月1日に体育館にて記念式典と祝賀会を行う予定です。体育館は、コロナウイルス感染症で学校が休校になった年の3月に全面改修が終了したこともあり、地域の方々へはまだお披露目されず現在に至っています。この機会に体育館のお披露目も兼ねて地域の方々をお招きする予定です。



2022

横浜市立都岡中学校

祝 創立50周年



佐久間校長先生ありがとうございました。お話にありました源流の森は、ズーラシアと中学校の間にあり、都岡町小川アメニティへと流れる湧水が出ています。6月初め頃に蛍がたくさん飛び交います。お隣の川井小学校ではネイチャーナイトという催しも開かれています。ご興味のある方は、来年見に来てみてはいかがでしょうか。

続いては、本校本年度PTA会長の飛田より、PTA活動について話をしてもらいました。

飛田会長は造園業を営んでいて、学校内を花でいっぱいになりたいという野望を持ちつつ、保護者が過度の負担無くPTA活動をしながら、子供の中学校生活をサポート出来るように、各役員や委員会の皆さんと協力して活動を進めています。



今年度はコロナも落ち着いていますので、様子を見ながら各委員会で話し合い活動をして頂いています。また今年度都岡中学校は創立50周年記念行事があり、準備を進めています。

今年度の新たな取り組みとしては2つ。

1つ目は、各委員会どのような活動をしているのか分からないと参加も協力もしにくいということで、学校ホームページにて各委員会の活動を公開するようにし、たとえ5分でも10分でも保護者皆さんの貴重な時間を子ども達の為にご協力して頂けるような雰囲気作りをしています。

2つ目は、小中一貫教育のお手伝い サポート体制づくり

- ・小学6年生の中学校に対する不安を少しでもなくす。(中学校に対する壁を低く)
- ・小学校が教科担任制になった。

ことにより、都岡中学校ブロック(1中3小)での小中一貫教育の強化ということで小学生と中学生が授業を含めより交流が増えることになり、交流内容によりサポートが必要となる為、5月に行われた都岡中学校ブロック四校合同会議で親睦目的だけでなくブロック全体で子ども達の成長を育む為のサポート体制を整える前段階として、4月に神奈川県最初に開校した義務教育学校と、今年度開校した義務教育学校両校校長先生に、話を伺った際のお話をさせて頂きました。

両校共通している教育活動は

- ・フレキシブルな異学年交流
各学年境目が出来ないよう小学1年生から9年生(中学3年生)まで多くの交流をしている(小学校でいうところの縦割り活動)
- ・国際交流
コミュニケーション能力を育て、国際社会に対するものの見方を広げる
- ・ESD教育
持続可能な開発のための教育 でした。

2020年度小学校、2021年度中学校が文部科学省の学習指導要領が変わり「生きる力 学びの その先へ」と子どもたちが「何を学ぶのか」「どのように学ぶのか」「何が出来るようになるか」と子どもたちの生きる力を育むことを目指し子どもたちの成長の為に、学校と地域が共に連携・協働することがより必要となっています。

都岡中学校ブロックとしても、ブロック全体で教職員の方々と子ども達の為に何が出来るのか、より連携・協働して行く為、今年度はまず四校合同会議メンバーに理解頂き道筋を立てることを目標としたと思っています。

飛田会長の熱意が伝わってきますね。ブロック活動もコロナ禍ということで過去2年間は活動出来ませんでしたのでこれを機に活発な活動が出来たらと思います。

少々堅苦しい感じになってしまいましたが、都岡中学校の様子やPTA活動をご紹介させていただきました。

次回は、川井小学校取材し紹介させていただきたいと思います。

最後に松本区P連会長より伺った話を一つ。

前回の理事会で、議事録や会議のお知らせ、出欠確認は基本メールでやりとりを行うことになったそうです。

議事録の印刷と市メールでの送送業務が減ることは、担当校事務局さんの負担軽減につながり費用も削減できそうですね。

各校の理事の皆さん、大変でしょうが、今後も活発な意見交換と議論をお願いします。(編集M)

